

# Rohm Music Friends<sup>♯</sup>

ローム ミュージック フレンズ

2023.12 | No.16

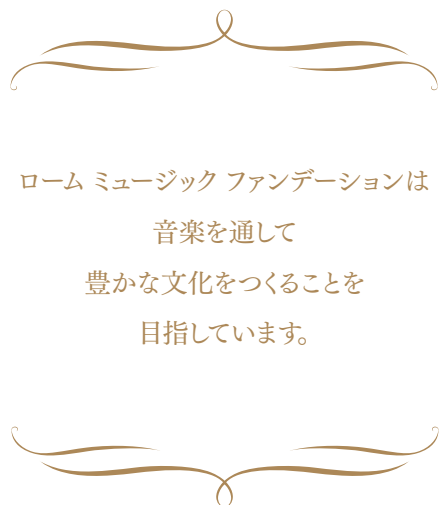
—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ピエール=オーギュスト・ルノワール [La Musique] 1895年  
© Bridgeman Images / amanaimages

# Rohm Music Friends

No.16  
2023.12



## 目次

- P03 活躍する奨学生 インタビュー
- P07 ローム ミュージック フェスティバル2023
- P10 京都・国際音楽学生フェスティバル2023
- P11 2023年度 奨学生のご紹介
- P13 2022年度以前奨学生 報告会  
2023年度奨学生 認定式
- P14 ローム ミュージック ファンデーション  
スカラシップ コンサートVol.42~46 ~夢~
- P20 ローム ミュージック セミナー2023 〈宮田大・チェロクラス〉
- P22 ROHM MUSIC FOUNDATION  
30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.2
- P23 Kyoto×Classics
- P24 ローム クラシック スペシャル  
日本フィル エデュケーション・プログラム  
小学生からのクラシック・コンサート2023  
日本フィル 夏休みコンサート2023  
新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室
- P25 ローム ミュージック フレンズからのお便り
- P30 ロームシアター京都 ミュージックサロン
- P31 奨学生一覧・先輩からのメッセージ

### 「ローム ミュージック フレンズ」とは

1991年の創立以来、若い音楽家育成のためのさまざまな事業で関わった音楽家。  
2023年11月現在 計4,865人  
※複数の事業で関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致しない。

奨学生	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。	540人
音楽在外研究生	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。	64人
ミュージックセミナー受講生	ローム ミュージック フレンズが講師となり、 世界を舞台に活躍する音楽家の育成を目的としたセミナー。	11人
音楽セミナー受講生	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。 現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。	333人
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から 音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。	2,646人
小澤征爾音楽塾 塾生	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。	1,530人



# 活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.16

*Natsumi Tamai*

玉井 菜採 [ヴァイオリン]

1998、1999年度奨学生

給付時の在籍学校：  
ミュンヘン国立音楽大学



## Profile

桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールに優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧らの諸氏に師事。卒業後、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにて研鑽を積む。この間、J.S. パッサ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。平成14年度文化庁芸術祭新人賞、平成20年度京都府文化賞奨励賞など受賞。国内外で、活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、アンサンブルoトウキョウ・ソロヴァイオリニスト、東京クライスアンサンブルのメンバー。東京藝術大学教授。使用楽器は藝大所蔵のStradivarius“Ex-Park”(1717)。

— 楽器を始めたきっかけを教えてください。

両親が京都市交響楽団の楽団員で、また家でヴァイオリンを教えていたこともあり、幼いころから自然と家の中に音楽がある環境でした。両親が家の中の見える位置に調弦した子どもサイズの楽器を置いておいたら案の定、私が引っかけてヴァイオリンを弾き始めたという、そんな始まりでした。小さいころから京都市交響楽団の演奏会へよく行っていましたね。

— その後、中学生まで関西にてヴァイオリンを学ばれ、高校は桐朋女子高等学校(共学)に進まれました。

小学校6年生ごろから桐朋学園の音楽教室に入っていましたし、その前から習っていた先生のところにはプロを目指すようなお友達がたくさんいたので、自然と桐朋女子高等学校に進むことになりました。

— 桐朋学園大学に進学・ご卒業後、留学をされましたが、留学をしようと思ったきっかけはなんだったのでしょうか。

高校から桐朋学園に進学して7年間、途中から留学したい気持ちが強くなっていきました。

高校を卒業してすぐ留学したら?、なんておっしゃる先生もいらしたんですけど、当時はそういったルートが少なかったこともあり、勇気がなくて…。桐朋学園大学に進学してからは、どう

いうところに留学したいかずっと考えていました。

最終的に、オランダのアムステルダムにいらっしゃるヘルマン・クレバース先生という方に師事したいと思い、「行っていいですか」と彼に聞いたら、その時は「いらっしい」とは言っていただけじゃなかったんです。年配の先生でたくさんの生徒を取れない一方で、世界中から習いたい生徒がいっぱい来る、ということで難しかったようです。

ただ桐朋学園大学を卒業してすぐの夏休みに、たまたまアムステルダムに部屋が見つかって…。それで「秋から行きます」「プライベートでいいので、時々教えてください」と押しかける形でレッスンをスタートしました。レッスンに通い始めたらすぐに先生が「来年の入学試験を受けなさい」とおっしゃってくださいました。

他にもいろんな先生はいらっしゃいましたが、少し煮詰まっていた当時の私にとって、クレバース先生の元であれば、自分の成長できる部分が見え、まだできることがあるような気がしたんですね。

そこからクレバース先生に4年間師事しましたが、その間に受けに行ったミュンヘン国際音楽コンクールで審査員をしていらして、とても温かい講評をしてくださったアナ・チュマチェンコ先生と知り合うことになりました。当時アナ先生はまだ日本ではほとんど知られていませんでした。私もタワーレコードで探したCDでその演奏を初めて聴いて、あまりの素晴らしさにびっくりしたことを覚えています。

女性というところにもやはり感じる部分がありましたね。クレバース先生に教えていただいたことは、今でも自分の演奏の柱になっているんですけど、男性的な演奏をなさる方なので、先生のような演奏は自分にはできないなという思いがあり、そんな中アナ先生の演奏の持つしなやかさに非常に惹かれました。

そのあとマスタークラス等で親しくさせていただくようになって、クレバース先生に「もう少し勉強したいと思うんだったら彼女のところに行きなさい」とおっしゃっていただけましたこともあり、アナ先生に師事するようになりました。

恩師 アナ・チュマチェンコ先生と







エリザベート王妃国際音楽コンクール本選にて  
室内楽ツアー フランス・アルルの“跳ね橋”で地元の方と

アナ先生は、クレバース先生との4年間で培ってきたもの、既に自分が持っているものをどのように活かして演奏するかということ伝えてくださって、それが師事した2年間の一番の収穫だったと思います。

— その留学から戻られたあと、2002年から東京藝術大学の講師になられました。どのようなきっかけでスタートされたのでしょうか。

これもまた留学と同じく「とりあえず目指してみよう…」という感じです(笑)。というよりそのころから東京藝術大学が教員の公募を始めまして、私の受けたポストは、東京藝術大学管弦楽研究部(現在の藝大フィルハーモニア管弦楽団)ソロコンサートマスター兼弦楽科教員というものでした。はじめは「留学から帰ってきてすぐで、まだそんな器ではない」と思っていたんです。けれど知り合いの方が勧めてくださって、周囲の少し反対していた方も最終的には「やってみたら」とおっしゃってくださったので公募を受けたという流れでした。

— そのあと助教職、教授と長年指導に携わってこられた中での気づきなどあれば教えてください。

最初は年も近かったので、少し年上の留学帰りという感じで、自分の経験を現役の学生に伝えたり、練習方法や曲の仕上げ方をアドバイスしたり…。そんな感じでスタートしました。教え始めて分かったことと言えば、教えることによって自分が受け取るものの方が多いということでした。自分が演奏活動で得た気づきをレッスンの中で活かせることもあるし、レッスン中にさまざまな学生と関わることによって自分の演奏に活かせるものを見つけることもあり

ます。持ちつ持たれつといった関係で、指導をしているからこそ演奏活動も続けてこられたのかなと思いますね。

— ご指導される中で、コンクールに挑戦する生徒さんもたくさん見てこられたと思います。コンクールの際に心がけてほしいこと、アドバイスなどあれば教えてください。

私も言われていたことですが、とにかく結果に一喜一憂しないということです。良い結果が出たらもちろん喜んで、うまくいかなかった時にはそれに囚われないことが大切だと思います。コンクールは大勢の審査員で審査するため違う意見もあって、だから必ずしもそれが絶対的な評価だと思わないように、とクレバース先生はよくおっしゃっていました。皆さんストイックに練習しているので、そのシリアスさがプレッシャーや、自分の視野を狭めるようなことになるのではなく、モチベーションに繋がれば良いのかなと思っています。

— 学生のうち、若いうちにチャレンジしていただいた方が良いと思うことはありますか。

いろんな所に行ったり、いろんなものを見たり、音楽以外の経験も大事だと思います。我々の仕事の素晴らしいところは、「素晴らしい芸術作品を自分の手で演奏できること」です。他の芸術であれば見たり触れたりはできるかもしれませんが、音楽の素晴らしいところは、その曲を自分で解釈して、再構成し、共演者やお客様と、ともに味わえること。音楽を演奏することは本当に幸福だと思うんです。でもその曲の中にある、例えば死をも考えるような大恋愛や、ソ連時代の作品のような社会の中で生きていく厳しさなどは自分が経験し得ないことです。ですからそういった作品を演奏する



ためには、想像力が必要になってきます。経験したことはないけれど、これはどういうことなんだろう、と自分なりに想像するためには材料をたくさん自分の中に、何か他のものから取り入れる必要があるんです。例えば映画であるとか、なにかを読むとか、誰かとの人間関係とか…。練習だけしていても身に付けられないことですから、音楽以外の経験も重要だと思います。

それから音楽だけが人生じゃないですから、自分自身の人生を豊かにするためにもいろんな経験を積むことは必要だと思いますね。

— いま学生でいらっしゃる方が人生の分岐点に立ったとき、重要な選択をする際のアドバイスがあれば教えてください。

私が桐朋学園にいた当時、学長でいらした三善晃先生がお話されたことでとても心に残っていることがあります。正確には覚えていないのですが、「音楽の世界というのは厳しいもので、頂点に立てる人はほんのわずかです。でもその方たちだけが大事なわけではなく、音楽へはいろんな関わり方があって、その全てが尊いんですよ。」と。それぞれの音楽との関わりの中で、それぞれの天職だと思うものを見つけていければ良いのかなと思います。それぞれに尊さがありますからね。

— 玉井さん自身が今後挑戦してみたいことや、現在取り組んでいらっしゃることを教えてください。

私の地元 滋賀では、音楽の道を志す若い方たちのためのアンサンブルセミナー「びわ湖ミュージックハーベスト」\*を行っていて、ここ数年は平和堂財団のご支援で回を重ねています。私は全体を統括する音楽監督と、室内楽部門のコーディネーター兼講師を務めています。室内楽部門では、小学校高学年から高校生までの主にピアノと弦楽器の受講生を募り、講師が受講生たちと一緒に演奏したり、コーチをしたりして、最終日のコンサートでその成果を披露する、という形で開催しています。



活躍する  
奨学生  
インタビュー

内容は二重奏から六重奏ぐらいまで、ハイドン、ベートーヴェンなどの古典派の弦楽四重奏や、シューマンのピアノ五重奏曲、ブラームスの弦楽六重奏曲など、非常に本格的です。室内楽を全く弾いたことのない子や、経験があまり多くない子どもたちが、三日間、一緒に弾いたり、リハーサルを重ねる中で、相手を聴きながら共に弾く楽しさ、共に音楽に深く分け入る喜びを知り、まるでスポンジが水を吸い込むように成長します。ふだん一人で楽器と向き合い、発表会やコンクール、なにかとプレッシャーがかかることも経験してきている子たちなので、ハーベストで室内楽をやってみると、「楽しすぎて、弾きながら終わってほしくない!って思った本番は初めて!」と話してくれます。また、参加した子たちが、新たなモチベーションを得て、その後、大きな成長を遂げてくれるケースがたくさんあることも嬉しいですし、そんな子どもたちと関わるのが楽しくて、いつもたくさんのエネルギーをいただいているなあ、と思います。今後も、若い方たちとたくさん一緒に演奏させていただきたいです。楽譜を目の前にして、同じエネルギーで演奏に取り組みたいですし、そのためには自分自身が進化し続けなければ…と思います。

\*2023年度は2024年3月に打楽器部門  
2024年度は2025年3月に室内楽部門を開催予定

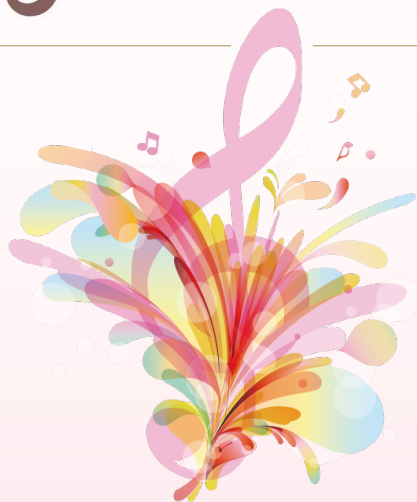


# ROHM MUSIC FESTIVAL 2023

ローム ミュージック フェスティバル

国内外で活躍するローム ミュージック フレンズなど  
豪華出演者による音楽祭!

2023.  
4/22[土]・23[日]  
ロームシアター京都



2023年4月、「ローム ミュージック フェスティバル」を開催しました。ローム・スクエア(野外)での吹奏楽コンサートも復活し、4年振りに従来通りの形での開催が実現しました。

オンラインでの配信も行い、国内外で活躍するローム ミュージック フレンズを中心とした出演者の素晴らしい音楽をより多くの方々にお楽しみいただきました。

今回もフェスティバルのナビゲーターを務めた朝岡聡さんの解説と写真で振り返ります。

撮影:佐々木卓男



朝岡 聡

テレビ朝日アナウンサーとして活躍。フリーとなつてからはクラシックコンサートの司会や企画構成にも活動のフィールドを広げ、芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。

例年になく春が早く来た京都。鮮やかな新緑がさわやかな風に揺れるロームシアター京都周辺。4年ぶりにローム・スクエア・コンサートも復活して中高生の演奏に合わせた手拍子、拍手が湧きおこりました。ステージと聴衆のコミュニケーションで会場が一つになれる!…今年のフェスティバルは、どのコンサートもそんなライブの歓びに溢れていました。



## リレーコンサートA 12人のスペシャル・チェロ・アンサンブル

辻本 玲 (チェロ)、伊藤 悠貴 (チェロ)、遠藤 真理 (チェロ)、小野木 遼 (チェロ)、香月 麗 (チェロ)、上村 文乃 (チェロ)、佐山 裕樹 (チェロ)、高木 慶太 (チェロ)、長谷川 彰子 (チェロ)、森田 啓介 (チェロ)、横坂 源 (チェロ)、渡邊 方子 (チェロ)

NHK交響楽団首席奏者の辻本玲を中心に、国内外で活躍するローム ミュージック フレンズのチェロ奏者12人が集結。全員で音を重ねれば、まさに豊かな「音の森」が出現!「一人語り」のチェロもあれば、4人や6人のコンビネーションでアンサンブルの大いなる可能性を見事に披露してくれるプログラムもあって、この日だけのとびきり贅沢な響きに会場は魅了されました。



## リレーコンサートB Brassissimo! 燦爛たる金管アンサンブルの世界

伊藤 駿 (トランペット)、稲垣 路子 (トランペット)、坂本 敦 (トランペット)、三澤 慶 (トランペット)、日橋 辰朗 (ホルン)、今込 治 (トロンボーン)、上田 智美 (トロンボーン)、風早 宏隆 (トロンボーン)、藤井 良太 (バス・トロンボーン)、宮西 純 (チューバ)

トランペットとトロンボーン各4人、ホルン、チューバの10人は普段は国内各地で活躍の名手達。彼らが一期一会のアンサンブルを繰り上げました。作・編曲家でもあるトランペットの三澤慶によるルネサンス舞曲や源氏物語に材をとった作品も披露されるなど実に多彩なプログラム。豪華でダイナミックな金管楽器の輝きに喝采が送られました。



## リレーコンサートC 2台ヴァイオリンとピアノによるダンス・ミュージックの世界

磯 絵里子 (ヴァイオリン)、神谷 未穂 (ヴァイオリン)、岡田 奏 (ピアノ)



アンダーソン「舞踏会の美女」に始まり、モンティ「チャールダッシュ」の2人演奏に到るプログラムはダンス音楽をテーマにした多彩なもの。従妹同士で誕生日も同じという神谷未穂と磯絵里子のヴァイオリンは息もピッタリ、どれも生命力にあふれて楽しさ満点。軽妙な解説トークにリクエストコーナーなど、客席とのコミュニケーションも工夫された構成で大いに盛り上がりました。

## オーケストラコンサートI オペラ・ハイライト「セビリヤの理髪師」×「フィガロの結婚」

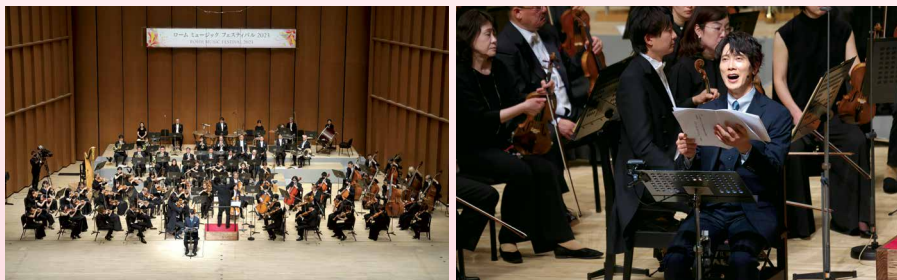
垣内 悠希（指揮）、高橋 維（ソプラノ）、鷲尾 麻衣（ソプラノ）、富岡 明子（メゾ・ソプラノ）、高島 伸吾（テノール）、又吉 秀樹（バリトン）、近藤 圭（バリトン）、木村 善明（バス・バリトン）、朝岡 聡（ナビゲーター）、京都市交響楽団（管弦楽）



ロッシーニとモーツァルトの傑作オペラが一度に楽しめる?!そんな夢のようなオペラ企画が実現。田尾下哲の演出はステージ上の豪華な舞台を縦横無尽に使って、芝居の面白さも堪能できる秀逸なもの。歌手陣も持ち味を十分発揮しての熱唱&熱演。軽妙なナビゲートも冴えて、オペラの面白さを改めて実感できる機会となりました。

## オーケストラコンサートII 音楽物語「パール・ギュント」×チャイコフスキー 交響曲第5番

佐々木 蔵之介（語り）、垣内 悠希（指揮）、朝岡 聡（ナビゲーター）、京都市交響楽団（管弦楽）



京都出身の俳優・佐々木蔵之介が語る「パール・ギュント」の物語は、雄弁なオーケストラと相まって実にロマンあふれる贅沢な味わい。「運命」をモチーフにしたチャイコフスキーの交響曲でも、豊かな感情が全編に濃厚に感じられ、聴く人を熱狂へと導きました。オーケストラの魅力を存分に感じたひとときでした。

4年ぶりに通常の開催となった今回のフェスティバル。演奏者も客席も、あらためてライブで音楽に向き合える喜びを実感する2日間でした。全公演が配信でも全国の音楽ファンに届きました。ローム ミュージックフレンズにとって、このフェスティバルで初めて共演できたり、演奏機会を得るのは貴重な財産。その絆を活かして、次回以降も多彩なプログラムが展開されることでしょう。

# 京都・国際音楽学生フェスティバル2023 Kyoto International Music Students Festival 2023



音楽を通じた国際交流と世界の若き音楽家の育成を目的に、世界の音楽学生たちが京都に集い共演するコンサートとして、毎年5月に開催する「京都・国際音楽学生フェスティバル」。2023年も京都府立府民ホール“アルティ”にて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により長らく来日できなかった海外の学生も2019年以来4年振りに来日し、活気あふれるコンサートとなりました。

【参加校】  
海外:4校 6名 / 国内:2校 5名 (合計:6校 11名)

学校	参加者(人)
ウィーン国立音楽大学	1
ミラノ・ヴェルディ音楽院	1
パリ国立高等音楽院	2
ジュリアード音楽院	2
京都市立芸術大学	3
東京藝術大学	2



撮影:佐々木卓男





荒井 里桜  
ヴァイオリン

ローザンヌ  
高等音楽院  
2023年度



泉 優志  
チェロ

ザール音楽大学  
大学院  
2022、2023年度



牛田 智大  
ピアノ

フレデリック・  
シヨパン音楽大学  
2023年度



進藤 実優  
ピアノ

ハノーファー  
音楽演劇メディア大学  
2021、2023年度



谷口 知聡  
ピアノ

パリ国立高等音楽院  
2023年度



田畑 音葉  
ヴァイオリン

英国王立音楽院  
2023年度



梅崎 秀  
ピアノ

桐朋学園大学  
2022、2023年度



大井 駿  
指揮

ザルツブルク・  
モーツァルテウム大学  
2023年度



奥井 紫麻  
ピアノ

グネーシン音楽大学、  
ジュネーヴ高等音楽院  
2023年度



千葉 遥郎  
ピアノ

リュベック音楽大学  
2019、2023年度



戸澤 采紀  
ヴァイオリン

リュベック音楽大学  
2023年度



中川 優芽花  
ピアノ

ワイマール・フランツ・  
リスト音楽大学  
2022、2023年度



奥田 ななみ  
ピアノ

パリ国立高等音楽院  
2023年度



小倉 美春  
ピアノ

フランクフルト音楽・  
舞台芸術大学  
2023年度



尾城 杏奈  
ピアノ

パリ・エコールノルマル  
音楽院  
2022、2023年度



中野 りな  
ヴァイオリン

桐朋学園大学  
2023年度



福田 麻子  
ヴァイオリン

東京音楽大学  
大学院  
2022、2023年度



福丸 光詩  
作曲

東京音楽大学  
2022、2023年度



落合 真子  
ヴァイオリン

東京藝術大学  
2023年度



小野田 健太  
作曲

パリ国立高等音楽院  
2021、2023年度



亀居 優斗  
フレンチネット

パリ・エコールノルマル  
音楽院  
2023年度



保崎 佑  
フレンチネット

東京音楽大学  
2022、2023年度



室元 拓人  
作曲

ブローニュ・  
ピヤンクール地方音楽院  
2023年度



望月 晶  
ピアノ

桐朋学園大学  
大学院  
2022、2023年度



北村 陽  
チェロ

ベルリン芸術大学  
2023年度



柴田 花音  
チェロ

ノースウェスタン大学  
ピーネン音楽院 大学院  
2022、2023年度



清水 伶  
フルート

ジュネーヴ  
高等音楽院  
2022、2023年度



山縣 美季  
ピアノ

東京藝術大学  
2022、2023年度



山本 航司  
サクソフォン

パリ国立高等音楽院  
2023年度



吉田 一貴  
テノール

アッリーゴ・  
ポイト音楽院  
2022、2023年度





## 2022年度以前奨学生 報告会・2023年度奨学生 認定式

2023年7月28日と8月21日に、2022年度以前の奨学生の報告会と2023年度奨学生の認定式をホテルモントレ京都にて開催しました。

公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションやローム株式会社の子業を紹介した後、奨学生より今後1年間の抱負や奨学金給付期間中の勉学状況報告を発表していただきました。あわせて今年も特別講師を招聘したアーティスト研修会を開催し、奨学生の皆さんには、今後の音楽活動に向けた学びを深めていただきました。

また今年は、4年ぶりに懇親会を開催し、奨学生同士の交流も活発に行われました。



[7/28 集合写真]



[8/21 集合写真]

## 認定式、報告会、懇親会の様子



次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!

## ローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサートVol.42~46 ~夢~

奨学生期間の学びの成果を披露することを目的に2013年度より開催しているスカラシップ コンサート。奨学金給付期間中または給付終了直後の音楽学生が毎年多く出演しています。今年度は京都・東京あわせて5公演に、2019~2021年度奨学生が出演し、今年のテーマ『夢』に合わせて、さまざまな楽器のソロやアンサンブルなど、フレッシュな演奏を披露し多くのお客様にお楽しみいただきました。



### スカラシップ コンサート

2021年度に東京公演をスタートして以来、はじめて全公演が完売いたしました。

京都公演@京都府立府民ホール“アルティ” 東京公演@浜崎宮朝日ホール

2023. 7.29 Vol.42  
7.30 Vol.43  
8.20 Vol.45

2021. 8. 6 Vol.44  
8.26 Vol.46



撮影:佐々木卓男



### お客様の感想

- ・勇気と元気をいただきました ひさびさに心が震えました。
- ・1,000円でこのボリューム、このレベル!素晴らしい!
- ・選曲にも各人の異なる持ち味が出ていて聴いてとても楽しめました。
- ・今まで知らなかった方や楽曲に触れ、ますます面白く思わせていただきました。





次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!  
 ローム ミュージック ファンデーション  
 スカラシップ コンサートVol.42~46 ~夢~

Vol. 42



1 吉本梨乃[ヴァイオリン]、木口雄人[ピアノ]      2 中川優芽花[ピアノ]      3 尾城杏奈[ピアノ]  
 4 栗原峻希[バリトン]、木口雄人[ピアノ]      5 泉優志[チェロ]、山縣美季[ピアノ]      6 望月晶[ピアノ]、山縣美季[ピアノ]  
 7 関朋岳[ヴァイオリン]、橋和美優[ヴァイオリン]、石原悠企[ヴィオラ]※、柴田花音[チェロ]、木口雄人[ピアノ]

※ヴァイオリン専攻奨学生ですが、Vol.42ではヴィオラを演奏

Vol. 43



1 清水侑[フルート]、望月晶[ピアノ]      2 石原悠企[ヴァイオリン]、開原由紀乃[ピアノ]      3 鷹橋美恵子[オーボエ]、保崎佑[ファゴット]、開原由紀乃[ピアノ]  
 4 石井希衣[フルート]、佐山裕樹[チェロ]、開原由紀乃[ピアノ]      5 佐々木つくし[ヴァイオリン]、鳥羽咲音[チェロ]、桑原志織[ピアノ]

撮影:佐々木卓男





次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!  
 ローム ミュージック ファンデーション  
 スカラシップ コンサートVol.42~46 ~夢~

Vol. 44



- 1 清水伶[フルート]、山縣美季[ピアノ]
- 2 尾城杏奈[ピアノ]
- 3 石井希衣[フルート]、東亮汰[ヴァイオリン]、石原悠企[ヴィオラ]※、佐山裕樹[チェロ]
- 4 栗原峻希[バリトン]、桑原志織[ピアノ]
- 5 吉本梨乃[ヴァイオリン]、尾城杏奈[ピアノ]
- 6 東條太河[ヴァイオリン]、泉優志[チェロ]
- 7 鳥羽咲音[チェロ]、桑原志織[ピアノ]

※ヴァイオリン専攻奨学生ですが、Vol.44ではヴィオラを演奏

撮影:各務おゆみ

Vol. 45



- 1 福田麻子[ヴァイオリン]、梅崎秀[ピアノ]
- 2 上島緑[メゾソプラノ]、越知晴子[ピアノ]※
- 3 本田和慶[ヴァイオリン]、梅崎秀[ピアノ]
- 4 東亮汰[ヴァイオリン]
- 5 梅崎秀[ピアノ]
- 6 東條太河[ヴァイオリン]、吉武優[ピアノ]※

※過去奨学生

撮影:佐々木卓男





次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!  
 ローム ミュージック ファンデーション  
 スカラシップ コンサートVol.42~46 ~夢~

Vol. 46



1 保崎佑[ファゴット]、吉見友貴[ピアノ]※

2 梅崎秀[ピアノ]

3 本田莉愛[ヴァイオリン]、梅崎秀[ピアノ]

4 柴田花音[チェロ]、梅崎秀[ピアノ]

5 上島緑[メソソプラノ]、越知晴子[ピアノ]※

6 福田麻子[ヴァイオリン]

※過去奨学生

撮影:佐々木卓男



世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー  
 ローム ミュージック セミナー2023  
 <宮田大・チェロクラス>



今年も宮田大さんを講師に迎え、4回目となる「ローム ミュージック セミナー<宮田大・チェロクラス>」を開催いたしました。これまでは複数回参加している受講生が多かった本セミナーですが、今回は初参加の方が3名と、新しい顔ぶれでのスタートとなりました。  
 レッスンは朝から晩まで行われ、受講生たちは自身のレッスンだけでなく他の受講生との交流や聴講を通して、演奏を大きく変化させていました。  
 最終日には成果発表のコンサートが行われ、受講生のソロ、講師のソロに続きチェロアンサンブルの演奏で多くのお客様楽しんでいただきました。

セミナー:2023.7/31~8/4、コンサート:2023.8/5

ロームシアター京都 サウスホール

セミナーの様子

講師:宮田 大(チェロ)

ローム ミュージック ファンデーション  
 2010~2012年度奨学生  
 2003、2004年小澤征爾音楽塾塾生

ピアニスト:ジュリアン・ジェルネ、津田裕也



コンサート終了後の受講生と講師の様子



撮影:佐々木卓男

受講生

(五十音順)



佐藤 桂菜



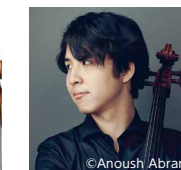
清水 陽介



原 宗史



藤原 寛太



三井 静

## コンサートの様子



## Voice 受講生の感想

- ・ホールでレッスンということはなかなか無いので、ホールに合った重厚感のある大きな音を出すことを学べました。
- ・コンサートがあることによって、目標を持ち、より一層引き締まって毎日練習することができました。
- ・ずっと憧れの宮田大さんのレッスンを毎日受けることができ、そして日本だけではなく世界で活躍されている受講生の皆様とも出会うことができ、心の底からこのセミナーを受講することができて良かったなと思っています。

撮影:佐々木卓男

30周年記念曲とともに  
日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画!

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.2

## 九州交響楽団 プレミアム・コンサート in福岡

プロジェクト特設  
サイトはこちら



ローム ミュージック ファンデーションの1991年に設立されて以降、若手音楽家の育成やコンサート支援など、音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を継続して行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念してより多くの方に音楽の素晴らしさを知っていただくため、全国各地でオーケストラのコンサートを開催するプロジェクトを開始し、その第2弾として、2023年5月に福岡で公演を開催しました。

設立30周年記念作品として岩代太郎さんに委嘱した「東風慈音ノ章(こちじおんのしょう)」を、高関健さんと九州交響楽団の演奏でお届けしました。続いて、ソリストにローム ミュージック フレンズの菊池洋子さんを迎えてモーツァルトのピアノ協奏曲を披露し、その素晴らしい響きに盛大な拍手が送られました。



撮影:椎原一久

メイン曲のレスピーギの「ローマの噴水」「ローマの松」の前には、音楽に詳しくない方にもお楽しみいただけるよう、司会の朝岡聡さんによる楽曲解説も行われました。今後お近くの会場で開催の際は、ぜひ足をお運びください。

日程	2023年5月3日(水・祝) 17:00開演(16:00開場)
会場	アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
出演者	指揮者:高関 健 ピアノ:菊池 洋子(ローム ミュージック フレンズ) 管弦楽:九州交響楽団 司 会:朝岡 聡



# ROOM ミュージック チャンネル 「Kyoto × Classics」

## 『京都とクラシック音楽』

都に響く、美しき音色と風景。クラシックで巡る、『響と旅』。



配信中のROOM  
ミュージック  
チャンネルはこちら



歴史ある京都の名所と伝統あるクラシック音楽をROOM ミュージックファンデーションが結びます。「ROOM ミュージック フレンズ」が京都の名所でを行うコンサートをオンラインでお届けする「Kyoto×Classics」シリーズを2021年度より実施しています。会員登録不要、無料でROOM ミュージック フレンズの演奏と京都の風景をお楽しみいただけますのでぜひご覧ください。

- ◇ 〈Vol.5 大覚寺～平安より受け継がれし寺院に華やくピアノ三重奏の響き～〉  
・ヴァイオリン：小林美樹、チェロ：上村文乃、ピアノ：阪田知樹、ナビゲーター：佐々木蔵之介
- ◇ 〈Vol.6 常寂光寺～歌人の愛した紅葉が誘うフルートとハープの愉しみ～〉  
・フルート：上野星矢、ハープ：景山梨乃、ナビゲーター：水夏希
- ◇ 〈Vol.7 大覚寺～歌声が誘う華と歴史を繋ぐ寺院の夕べ～〉  
・ソプラノ：小林沙羅、バリトン：近藤圭、ピアノ：岡田奏、ナビゲーター：森崎ウイン
- ◇ 〈Vol.8 京都府庁 日本館～和洋薫る京都の礎に響く弦楽の調べ～〉  
・ヴァイオリン：上野明子、チェロ：上野通明、ナビゲーター：加藤和樹



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8

撮影：佐々木卓男



ROHM CLASSIC SPECIAL

日本フィルハーモニー交響楽団

## 日本フィル エデュケーション・プログラム 小学生からのクラシック・コンサート2023 (ROOM ミュージック ファンデーション助成、ROOM株式会社協賛)

このコンサートは「クラシック音楽は敷居が高い」「わかりにくい」というお子様やご家族のために、クラシック音楽を楽しむためのヒントを紹介するものです。2023年5月5日(金・祝)にROOMシアター京都で開催されました。ナビゲーターのレクチャーで白鳥のまねをしながらチャイコフスキー：《白鳥の湖》を聴いたり、打楽器と一緒に手拍子をしたりとお楽しみいただきました。



撮影：マメツカケシ

## 日本フィル 夏休みコンサート2023

(ROOM ミュージック ファンデーション助成、ROOM株式会社協賛)



撮影：佐々木卓男

日本フィルハーモニー交響楽団が、「生のオーケストラ音楽を、親子そろって楽しく、わかりやすく」「やわらかな感性を持つ子どもたちに音楽のもつ力の素晴らしさを届けたい」というコンセプトで1975年から続くファミリーコンサート。その京都公演が、2023年7月17日(月)にROOMシアター京都にて開催されました。クラシックの名曲に加え、スターダンサーズ・バレエ団とともにプロコフィエフ：《バレエ》シンデレラを披露し、会場は大盛り上がりでした。



新国立劇場

高校生のためのオペラ鑑賞教室「蝶々夫人」

(ROOM ミュージック ファンデーション助成、ROOM株式会社協賛)

若い世代に、優れたオペラを鑑賞する機会を通して芸術文化のすばらしさを伝えるため、新国立劇場にて1998年からスタートしたこの鑑賞教室。

2008年からは関西でも開催し、2016年からはROOMシアター京都で開催されています。

今年の東京公演では、6日間・約1万人の関東圏の高校生がブッチーニのオペラ「蝶々夫人」を鑑賞しました。この鑑賞教室が、多くの高校生にとってオペラに親しみ、そして楽しむきっかけになることを願っています。



提供：新国立劇場、舞台写真撮影：寺司正彦



# お便り

The letter from rohm music friends

ローム ミュージック フレンズから届いた  
ご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

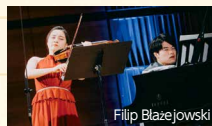
氏名 [専攻] 奨学年度  
給付時の在籍学校



## 国際コンクールでの入賞、そして旅する音楽家…

きぐち ゆうと  
木口 雄人 [ピアノ] 2020、2021年度奨学生  
ウィーン国立音楽大学

ウィーン生活も7年が過ぎました。現在は日本国内だけでなくヨーロッパ各地でも多く演奏の機会をいただけるようになり、「旅する音楽家」を体験させてもらっています。また今年はハチャトゥリアン国際コンクール第2位に始まり、2つの室内楽コンクールにて優勝することができました。こうしたチャンスをいただく度に感謝すると同時に、どの場面においても精神力と体力が試されていると痛感しますので、健康に気を付けて今後もパワフルに精進してまいります!



上/ハチャトゥリアン国際コンクールで第2位&古典派ソナタ賞を受賞  
下/ポーランド音楽国際コンクールの受賞者コンサートにて



Andrej Grlac



## ブラームスの愛した湖畔で

きたむら よう  
北村 陽 [チェロ] 2023年度奨学生  
ベルリン芸術大学

第29回ヨハネス・ブラームス国際コンクールで、第1位と現代曲のトゥッカータ作品解釈最優秀特別賞をいただきました。多くのブラームスの名曲が生まれた地で演奏でき、このような賞をいただけたことは大変嬉しく、今後の励みになります。また副賞として、2024年5月にプラハのスメタナホールで、ブラームスの二重協奏曲を演奏させていただきます。いよいよベルリンでの生活も始まるので、ドイツ音楽を深めていきたいと思います。



上/ファイナルでの演奏を終えて  
下/授賞式にて



## 東京音楽コンクール優勝

ほざき ゆう  
保崎 佑 [ファゴット] 2022、2023年度奨学生  
東京音楽大学大学院

2023年春に博士号を取得後、同年夏に開催された第21回東京音楽コンクールにて第1位と聴衆賞を受賞することができました。ファゴットは華型の楽器の世界と比べてコンクールが少なく、このような名誉ある大きいコンクールで結果を残すことができ、心から嬉しいです。本選の翌日はローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサートに出演しました。国内外で活躍する名手の方と共演することもでき、「研究のできる演奏家」としての良いスタートを切ることができました。



上/コンクールの賞状や目録など  
下/スカラシップ コンサートで共演したピアニストの吉見友貴さんと



©Makito Ishikawa

## 第17回チャイコフスキー国際コンクール

くろいわ こうき  
黒岩 航紀 [ピアノ] 2016、2017年度奨学生  
東京藝術大学大学院、リストフェレンツ音楽大学

2023年6月、さまざまな議論や意見が飛び交うなか、ロシアで行われたチャイコフスキー国際コンクール本選に出場しました。ファイナルへ進むことはできませんでしたが、憧れ続けた伝統的な舞台で、強い信念を持って2つのステージを演奏できたことは、大きな財産です。ベストコンテスタントという特別賞をいただいたことで、この回の入賞者として、またいただいた厳しい意見、激励のお言葉の数々も胸に刻み続け、音楽活動に邁進していきたいと思ひます。



©Evgeny Evtyukhov

上/チャイコフスキー像(チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院)  
下/モスクワ音楽院大ホールでの演奏の様子



## コンクール入賞、そしてこれから

いずみ ゆうし  
泉 優志 [チェロ] 2022、2023年度奨学生  
東京藝術大学、ザール音楽大学大学院

ビバホールチェロコンクールという若手登竜門のコンクールで賞をいただけて、とても光栄です。第1位という結果ももちろんですが、そこまでにかけてきた音楽へのこだわりや、新たな発見を評価されたことが一番嬉しいです。たくさん準備してきたので不安はなく、本番は自分の音楽に没頭することができました。湧き上がるなにかに身を任せながら音楽を楽しんでいたのを覚えています。現在はドイツのザール音楽大学大学院でG.リヴィニウス氏の元で勉強しています。ヨーロッパの音楽を肌で感じながら、音楽の素晴らしさを皆様に共有できるよう、精進していきたいと思ひます。



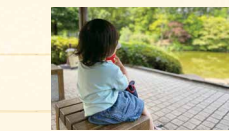
上/表彰式の様子  
下/本選の様子



## 環境が変わっても

かげやま りの  
景山 梨乃 [ハープ] 2013、2014年度奨学生  
ベルリン芸術大学

2014年に入団した東京交響楽団を2023年度末に退団し、2024年度より読売日本交響楽団に所属しています。東京交響楽団へはドイツ留学途中で入団が決まり、右も左もわからない状況から約9年間、多くのことを学び、濃厚で楽しく忙しく、大切な時間を過ごしました。所属先が変わってもそれは変わらず、なにより好きなことである「オーケストラで弾く」という幸せを噛み締めています。一方でまだ幼い子供に翻弄される毎日でもあります。演奏も母ちゃん業も楽しみつつ、邁進していきたいです。



上/読売日本交響楽団でハープ4台の曲を演奏  
下/休日子どもとどこか涼しい公園へ行きま







# 奨学生レポートより



ほんだ りあ  
本田 莉愛 [ヴァイオリン]  
2022年度奨学生  
ジュリアード音楽院

ここ数か月間、私は多様な演奏の機会に恵まれ、音楽家として大きく成長することができました。

2023年春、ワシントンDCで行われた全米桜祭りで、6821クインテットという弦楽五重奏団で演奏する機会を得ました。このグループはワシントンDCと東京の間の6821マイルの距離にちなんで名付けられました。

世界中のプロの音楽家と協力する素晴らしい機会でした。私が強く馴染んでいる二つの文化(日本とアメリカ)を結び付けるイベントに参加できて本当に特別でした。

私たちが演奏した曲はすべて、「さくらさくら」をテーマにした新しい作品。

これは私にとって非常に意義深いものであり、新しい作品を演奏する能力を大いに伸ばすきっかけとなりました。

その後、私は故郷のひとつであるシカゴに行き、ジュリアードの同級生のウミ・ギャレットとのリサイタルを行いました。

私たちはシューマンとガーシュウインのプログラムを披露しました。私が昔から演奏したかった曲ばかりで、とてもワクワクしました。自分の演奏曲目をプログラムすることは、通常のオーディションやコンクールと比べて非常に解放感がありました。

また、この春にはジュリアードで修士号を取得しました。

私はオーケストラのコンサートマスターとして卒業し、また卒業式で演奏するよう依頼されるという大きな名誉をいただきました。

私が演奏した曲は、中国の作曲家「チェン・イー」のもので、パーカッション二台とソロヴァイオリンのためのものでした。

とても面白い作品で、話す部分もありました。

この作品に取り組み始めた時は苦労しましたが、私の芸術的な限界に挑戦し、ステージで自分ができることに挑む機会を与えてくれました。

これらの機会は私に、現代において音楽家であることは単にヴァイオリンを演奏すること以上の意味を持つことを教えてくれました。音楽は重要なテーマを明らかにし、人々を結びつける手段となり得るのです。

私は今年行った成長と学びに対して感謝しています。



イツァーク・パールマン氏と



ニューヨークフィルハーモニックのコンサートマスターと



コンサートの様子

(2023年6月)



ささき  
佐々木 つくし [ヴァイオリン]  
2021、2022年度奨学生  
東京藝術大学、リュubeck音楽大学

2023年の3月に東京藝術大学を卒業し、4月から北ドイツのリュubeck音楽大学に在籍しています。リュubeckはバルト海に面していて、かつては北海およびバルト海沿岸地域の貿易を掌握していたハンザ同盟の盟主として栄えていました。今でも旧市街として当時の街並みが残っており、歴史を身近に感じるこのことできるとも素敵な街です。

私が2023年4月から9月まで在籍していたKontaktstudium(準備課程)はリュubeck音楽大学にしかない制度で、ソロのレッスンのみが受けられます。私は冬に行われた入試がスケジュール的に受けられなかったため、最初はKontaktstudiumの学生として入学しました。

ドイツの新しい生活はどこを切り取っても新鮮であると同時に、幾度となく壁にぶつかりました。特に渡独したばかりの4月は、家探し、引っ越し、初めての一人暮らし、入学手続き、新しいコミュニティに加え、国際コンクールの準備もしていたため、非常に目まぐるしかったです。ですがなにより、周りの先生方や友達が心から音楽を楽しんでいる様子に感化され、コンクールでの入賞は逃しましたが、審査員全員から講評をいただき、自分の強みと改善すべき点が明確になった良い機会となりました。

その後はビザの申請で苦しみながらも少しずつ生活に慣れていき、毎週の試演会や半年に2回の公開クラスコンサート、室内オーケストラに助っ人として参加するなど、充実した学生生活を送ることができました。

留学して一番強く感じたのは、音楽は言語や文化と密接に関係しているということです。例えばドイツ語を話すときのリズム感や発音はドイツ音楽の中にも見て取れますし、曲の様式はその時代の社会なども反映しています。

また、実際に作曲家が生きた場所を訪れてみることは豊かなインスピレーションの源になります。まだ半年しか経っていませんが、留学して本当に良かったです。

10月からは、いよいよ修士課程が始まります。ソロのレッスンに加え、私の大好きな室内楽のレッスンも受けることができるので、とても楽しみです。学内でも学外でも色々な演奏のチャンスいただけるよう日々努力するとともに、今ドイツで学べることはすべて吸収し、自分の糧にしていきたいです。

デジタルが普及する今日、息抜きさえもデジタル上で行う人々が増えてきていると思います。コロナ禍ではそれに救われた部分も大きいですが、日常が戻り始めたところにライブの演奏を再び味わうことのできた、あの感動はやはり強烈なものでした。

音楽の底知れない魅力を一人でも多くの人に届けられるよう、今後も邁進していきたいと思っています。

(2023年8月)



クラスコンサート終演後、師匠のHeime Müller先生と



アンリムルトーコンクールのガラコンサート



リュubeckの街並み





ローム ミュージック ファンデーション ブログ

奨学生レポートより



たに あきと  
谷 昂登 [ピアノ]  
2021、2022年度奨学生  
桐朋学園大学



この数ヶ月は、いろいろな意味で新しいことに挑戦する機会に恵まれました。まずは、2023年4月に王子ホールで行われた「MARO ワールド」に出演しました。そのコンサートで取り組んだ作曲家はロベルト・フックスでした。この作曲家は日本ではあまり有名ではないですが、ブラームス等の影響を受けた作曲家でもあり、ウィーンの素晴らしい伝統を受け継いでいる作曲家です。あまり知られていない作曲家を取り上げて、コンサートができることはクラシック音楽の一つの醍醐味でもあり、新たな可能性を見つけることのできる第一歩だと感じました。そしてそのような経験がある中で、6月には新潟ゆりうとぴあコンサートホールにてリサイタルを開催し「民族・民謡」をテーマとしたプログラムを組みました。この数年で変わってきたことは、リサイタルなどで、コンクールの参加に左右されず、自分で意図を持ったプログラムをしっかりと組み、聴衆の皆様はその意味合いを音楽で感じてもらえるよう心がけるようになったことです。そうすることで、自分自身が何を学ぶべきか、どのような知識が必要であるかが明確になっていき、より有意義な時間を過ごせるようになってきました。そして私自身、以前はロシア音楽を深く勉強していましたが、勉強していく中でロシアの作曲家がドイツの作曲家と大きく繋がっているように感じたこともありドイツ音楽に非常に興味を持つようになりました。そこで、留学についてもドイツで学ぶことを考え、縁あってケルン音楽大学で勉強することも決まりました。これからドイツ音楽を中心に学んでいき、レパートリーを広げていければと考えています。



ガイド・マリア・グイーダ氏と



MAROワールドで  
フックス ピアノ四重奏第1番を演奏

この数ヶ月で経験できたもう一つの大きなことは、オーケストラとの協奏曲の演奏です。5月には関西フィルハーモニー交響楽団とグリーグの作品を、8月にはパシフィックフィルハーモニア東京とブラームスのピアノ協奏曲第2番を共演しました。北欧の作曲家であるグリーグは初めて取り組む作曲家でも新鮮でしたが、独特の世界観と共にドイツ音楽との共通点なども見つけることができました。そしてブラームスの協奏曲第2番は、まるで交響曲のような大曲で、準備することは大変でしたが、指揮者がイタリアのマエストロ、ガイド・マリア・グイーダさんでリハーサルから細部にわたって創り上げることができ、この2年間で得たアンサンブルの経験が活きた瞬間でもありました。これからドイツ、ケルンで学び、自分自身の可能性を広げ、より深くクラシック音楽を学んでいきたいと思っています。

(2023年8月)

ロームシアター京都 ミュージックサロン



ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日にオープンしたミュージックサロン。音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設として各種イベントを開催し、これまでに多くのお客様にご来場いただいています。

■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側  
面 積：約96㎡  
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休  
営業時間：10:00～17:00

利 用 料 等：無料、原則出入り自由  
(一部整理券が必要な場合あり)  
主 要 設 備：7.1chサラウンドシステム、120インチスクリーン  
プロジェクター、演奏スペースなど  
主な開催内容：コンサートなどの映像・音源の放映、  
イベント(コンサート、セミナー、資料展示等)の開催

ROHM CLASSIC SPECIAL  
トーク&コンサート

上村 文乃 2つのチェロで巡る時の旅

〈アーカイブ配信中〉

収録日：2023年4月2日(日)  
出演：チェロ/上村 文乃  
(ローム ミュージック ファンデーション  
2015、2017年度奨学生)  
司会/田添 菜穂子  
曲 目：J.S.バッハ作曲 無伴奏チェロ組曲第2番 他



アーカイブ WEB サイトはこちら



ROHM CLASSIC SPECIAL  
トーク&コンサート

松本 和将 露西亞～愁いのメロディ

〈アーカイブ配信中〉

収録日：2023年9月5日(火)  
出演：ピアノ/松本 和将  
(ローム ミュージック ファンデーション  
2002、2003年度奨学生)  
司会/田添 菜穂子  
曲 目：ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」より 他



アーカイブ WEB サイトはこちら



ローム ミュージック ファンデーション ブログでも、  
現役奨学生からのレポートや財団の事業の紹介などを掲載しています。  
<https://micro.rohm.com/jp/rmf/blog/>





# 奨学生一覧

(各分野五十音順)

## ヴァイオリン／119人

青木 尚佳  
青谷 友香里  
アシュリー マリア アヤ  
東 珠子  
荒井 優利奈  
荒井 里桜  
安彦 千恵  
伊賀 あや  
石橋 幸子  
石原 悠企  
泉原 隆志  
磯 絵里子  
糸井 真紀  
伊藤 文乃  
井上 奈央子  
上野 明子  
植村 太郎  
植村 菜穂  
植村 理葉  
牛草 春  
エリック・シューマン  
尾池 亜美  
王 中男  
大江 馨  
大岡 仁  
大島 莉紗  
大関 万結  
大谷 玲子  
岡崎 慶輔  
岡本 誠司  
小川 恭子  
落合 真子  
小野 明子  
榎本 大進  
加野 景子  
神尾 真由子  
神谷 未穂  
川村 奈菜  
木嶋 真優  
岸本 萌乃加

北川 千紗  
橘和 美優  
城戸 かれん  
木村 悦子  
清永 あや  
日下 紗夕子  
倉富 亮太  
黒川 侑  
郷古 廉  
小林 杏成  
小林 美緒  
小林 美樹  
佐橋 まどか  
佐々木 つくし  
佐藤 久成  
篠原 悠那  
志満 直美  
島田 真千子  
島原 早恵  
清水 有紀  
白井 麻友  
菅井 京子  
鈴木 愛理  
鈴木 舞  
周防 亮介  
関 朋岳  
高木 凜々子  
滝 千春  
瀧村 依里  
田島 悠子  
立上 舞  
田中 晶子  
田中 晶子  
谷本 華子  
玉井 菜採  
千葉 水晶  
辻 彩奈  
坪井 夏美  
東條 太河  
土岐 祐奈  
戸澤 采紀

長尾 春花  
中島 麻  
中野 りな  
中村 太地  
成田 達輝  
西川 茉莉奈  
西澤 和江  
二瓶 真悠  
服部 百音  
林 悠介  
原 麻里亜  
原田 亮子  
東 亮汰  
福田 麻子  
福田 廉之介  
藤江 扶紀  
外村 理紗  
本田 莉愛  
前田 志乃  
正戸 里佳  
松川 暉  
松田 理奈  
三上 亮  
村田 美英  
毛利 文香  
守屋 剛志  
森山 まひる  
安田 理沙  
矢野 玲子  
山根 一仁  
梁 美沙  
弓 新  
湯本 亜美  
吉江 美桜  
吉田 南  
吉本 梨乃  
米元 響子  
渡邊 ゆづき

## ヴィオラ／14人

赤坂 智子  
有富 萌々子

大野 若菜  
金丸 葉子  
坂口 翼  
杉田 恵理  
瀧本 麻衣子  
田畑 音楽  
田原 綾子  
中島 悦子  
原 麻理子  
牧野 葵美  
山崎 智子  
渡邊 千春

## チェロ／43人

泉 優志  
伊東 裕  
伊藤 悠貴  
上野 通明  
植村 葉夏  
江口 心一  
遠藤 真理  
岡本 侑也  
奥田 なな子  
香月 麗  
加藤 文枝  
門脇 大樹  
上村 文乃  
唐沢 安岐奈  
北村 陽  
熊澤 雅樹  
佐々木 蘭望  
笹沼 樹  
佐藤 晴真  
佐山 裕樹  
柴田 花音  
高木 慶太  
辻本 玲  
鳥羽 咲音  
中木 健二  
長谷川 彰子  
林 裕  
櫃本 瑠音

平野 朝水  
藤井 泉  
藤原 秀章  
堀江 牧生  
松山 翔子  
マーク・シューマン  
水野 優也  
三井 静  
峰本 更  
宮田 大  
森田 啓佑  
山上 ジョアン 薫  
山本 徹  
横坂 源  
渡邊 方子

## クラシックギター／6人

齋藤 優貴  
谷辺 昌央  
藤元 高輝  
松本 大樹  
山下 愛陽  
山田 唯雄

## ヴィオラ・ダ・ガンバ／1人

酒井 淳

## フルート／23人

阿部 礼奈  
井坂 実樹  
石井 希衣  
岩瀬 桐子  
上野 星矢  
大久保 彩子  
久保 順  
倉田 優  
小山 裕幾  
清水 伶  
庄田 奏美  
瀧本 実里  
竹山 愛  
中村 薫  
萩原 貴子  
藤井 香織

本宮 湖心  
増本 竜士  
森岡 有裕子  
八木 瑛子  
山本 英  
若林 かをり  
渡邊 玲奈  
オーボエ／5人  
荒 絵理子  
岡山 理絵  
鷹栖 美恵子  
田代 奏子  
本多 啓佑  
梅原 希枝  
金子 平  
小林 知世  
小山 洋子  
亀居 優斗  
白子 正樹  
辻本 聡子  
中川 知美  
原田 綾子  
福田 さあや  
吉田 誠

## クラリネット／11人

梅原 希枝  
金子 平  
小林 知世  
小山 洋子  
亀居 優斗  
白子 正樹  
辻本 聡子  
中川 知美  
原田 綾子  
福田 さあや  
吉田 誠

## サクソフォン／3人

住谷 美帆  
中島 諒  
山本 航司

## ファゴット／4人

小山 莉絵  
中野 陽一朗  
藤村 踊子  
保崎 佑

## トランペット／3人

菊本 和昭  
佐藤 友紀  
三村 梨紗

## トロンボーン／2人

清水 真弓  
山本 浩一郎

## ユーフォニアム／2人

安東 京平  
佐藤 采香

## 打楽器／5人

池上 英樹  
岩見 玲奈  
沓野 勢津子  
通崎 睦美  
福山 直子

## ハープ／5人

景山 梨乃  
シュレイファー 弓子  
高野 麗音  
林 千佳世  
福井 麻衣

## パイプオルガン／1人

椎名 雄一郎

## チェンバロ／2人

北御門 はる  
脇田 英里子

## ピアノ／154人

秋山 紗穂  
浅野 未麗  
有吉 亮治  
五十嵐 薫子  
石井 楓子  
石川 武蔵  
石田 啓明  
石村 純  
乾 絵美  
今井 彩子  
今田 篤  
入江 一雄  
岩本 恵理  
牛田 智大  
梅崎 秀  
梅村 知世  
江澤 茂敏  
江尻 南美  
大井 浩明  
大崎 真真

太田 糸音  
大西 真由子  
岡田 奏  
岡本 麻子  
奥井 紫麻  
奥田 暁仁  
奥田 ななみ  
奥村 友美  
小倉 美春  
小沢 麻由子  
尾城 杏奈  
越知 晴子  
小野田 有紗  
海瀬 京子  
開原 由紀乃  
梯 剛之  
柏原 佳奈  
加藤 大樹  
加藤 洋之  
加野 瑞夏  
神野 千恵  
亀井 聖矢  
河内 仁志  
川崎 翔子  
川島 基  
川田 健太郎  
河村 尚子  
菊地 裕介  
菊池 洋子  
木口 雄人  
喜多 宏丞  
清塚 信也  
日下 知奈  
工藤 奈帆美  
久保 千尋  
倉澤 杏菜  
黒岩 航紀  
黒田 哲平  
桑原 志織  
小井土 文哉  
高 実希子

## チェンバロ／2人

北御門 はる  
脇田 英里子

## ピアノ／154人

秋山 紗穂  
浅野 未麗  
有吉 亮治  
五十嵐 薫子  
石井 楓子  
石川 武蔵  
石田 啓明  
石村 純  
乾 絵美  
今井 彩子  
今田 篤  
入江 一雄  
岩本 恵理  
牛田 智大  
梅崎 秀  
梅村 知世  
江澤 茂敏  
江尻 南美  
大井 浩明  
大崎 真真

壽 千明  
小林 愛実  
小林 有沙  
小林 海都  
齊藤 一也  
阪田 知樹  
坂本 真由美  
崎谷 明弘  
佐々木 宏子  
佐竹 裕介  
佐藤 卓史  
佐藤 彦大  
佐藤 麻理  
佐藤 元洋  
佐野 まり子  
紫垣 英二  
志藤 美紗  
釈迦源 洋介  
白川 多紀  
進藤 実優  
菅野 雅紀  
鈴木 謙一郎  
住友 郁治  
関本 昌平  
芹澤 佳司  
反田 恭平  
高田 匡隆  
高橋 礼恵  
内匠 慧  
田中 香織  
田中 正也  
谷 昂登  
谷口 知聡  
田村 響  
久保 遥一郎  
津嶋 啓一  
津田 裕也  
鶴見 彩  
土居 知子  
中尾 純  
中川 優芽花

## チェンバロ／2人

北御門 はる  
脇田 英里子

## ピアノ／154人

秋山 紗穂  
浅野 未麗  
有吉 亮治  
五十嵐 薫子  
石井 楓子  
石川 武蔵  
石田 啓明  
石村 純  
乾 絵美  
今井 彩子  
今田 篤  
入江 一雄  
岩本 恵理  
牛田 智大  
梅崎 秀  
梅村 知世  
江澤 茂敏  
江尻 南美  
大井 浩明  
大崎 真真

中桐 望  
中島 彩  
長瀬 賢弘  
中元 千鶴  
奈良 希愛  
新美 光映  
沼澤 淑音  
野上 真梨子  
萩原 麻未  
橋本 尚  
服部 慶子  
花岡 克典  
浜野 与志男  
林田 麻紀  
樋口 一朗  
久末 航  
日高 志野  
平松 悠歩  
福田 和子  
藤田 真央  
古海 行子  
真隅 政大  
松岡 久美  
松岡 淳  
松本 和将  
丸山 耕路  
丸山 凧乃  
萬谷 衣里  
ミア・エレゾヴィッチ  
三浦 友理枝  
三戸 あけみ  
三宅 麻美  
宮下 彩子  
宮田 理生  
務川 慧悟  
村田 理夏子  
村松 珠美  
望月 晶  
森田 義史  
矢島 愛子  
山縣 美季

# 奨学生一覧

(各分野五十音順)

山田 剛史  
山本 亜希子  
吉兼 加奈子  
ティーテン 吉川 右希子

吉田 友昭  
吉武 優  
吉見 友貴  
米津 真浩  
李 早恵  
リード 希亜奈  
脇岡 洋平

オルガン/2人  
福本 茉莉  
宗 かおり

声乐/64人

石井 教子  
市原 愛  
乾 麻里子  
上杉 清仁  
江口 輝博  
大島 京子  
岡田 昌子  
加藤 史幸  
加藤 麻衣  
上島 緑  
川島 幸子  
川原 成子  
木下 周子  
木下 美穂子  
木村 善明  
木村 里花子  
蔵田 みどり  
栗原 峻希  
小玉 晃  
小林 沙羅  
近藤 圭  
崔 宗宝  
坂本 知亜紀  
志摩 大喜  
清水 俊徳  
清水 勇磨

周 江平  
杉原 かおり  
鈴木 愛美  
高橋 維  
田邊 織恵  
谷口 伸

谷村 由美子  
田村 麻子  
趙 非  
津國 直樹  
辻 裕久  
寺田 功治  
田 大成  
富岡 明子  
中川 恵美里

中嶋 俊晴  
中島 康晴  
鳴海 真希子  
林 佑子  
深瀬 廉  
藤木 大地  
藤谷 佳奈枝  
本田 智衣  
又吉 秀樹  
松島 理紗  
松原 友  
真野 路津紀  
溝渕 悠理  
峯島 望美  
宮里 直樹  
森野 美咲  
山下 新吾  
山本 美央  
吉澤 淳  
吉田 一貴  
吉田 貴子  
藍 野流  
李 恩敬

指揮/23人

栗辻 聡  
石川 星太郎

伊藤 翔  
大井 駿  
垣内 悠希  
川本 真司  
岸本 有理  
鬼原 良尚  
齊藤 一郎  
阪部 慎太郎  
篠崎 靖男  
下野 竜也  
杉本 優  
橋 直貴  
田中 祐子  
寺岡 清高  
阪 哲朗  
三ツ橋 敬子  
村上 寿昭  
村中 大祐  
森 香織  
森口 真司  
森田 宏樹

作曲/25人  
阿部 俊祐  
稲森 安太己  
今井 智景  
小野田 健太  
北爪 裕道  
木下 正道  
小出 稚子  
酒井 健治  
坂田 直樹  
塚本 瑛子  
中川 佐織  
中橋 祐紀  
夏田 昌和  
朴 炳五  
福丸 光詩  
松宮 圭太  
松本 直祐樹  
ママットウメル  
向井 響

教会音楽/1人  
小山田 薫

音楽学/18人

金 士友  
貞方 マキ子  
周 耘  
白石 悠里子  
菅沼 起一  
関本 菜穂子  
園田 みどり  
高野 裕子  
東田 範海  
戸祭 哲子  
中村 伸子  
西村 理  
畑野 小百合  
早坂 牧子  
丸山 瑤子  
村田 圭代  
山本 明尚  
李 金叶

オペラ演出/4人

井原 広樹  
郭 才銀  
馬 金泉  
森岡 純子

向井 航  
室元 拓人  
山口 紘  
李 大軍  
渡邊 愛  
渡辺 裕紀子

教会音楽/1人  
小山田 薫

音楽学/18人

金 士友  
貞方 マキ子  
周 耘  
白石 悠里子  
菅沼 起一  
関本 菜穂子  
園田 みどり  
高野 裕子  
東田 範海  
戸祭 哲子  
中村 伸子  
西村 理  
畑野 小百合  
早坂 牧子  
丸山 瑤子  
村田 圭代  
山本 明尚  
李 金叶

オペラ演出/4人

井原 広樹  
郭 才銀  
馬 金泉  
森岡 純子

計 540人 (2023年11月現在)

## RMF 奨学生 先輩からのメッセージ Message

奨学生時代、ハンガリーの首都ブダペストに留学していた水野優也さん。  
そんな水野さんに奨学生時代のお話を伺いました。

— 奨学金に応募しようと思ったきっかけはなんだったんでしょうか。

高校から在籍していた桐朋学園の先輩方が、RMFの奨学金をいただいていた、「留学をするならロームの奨学生」という感じでした。自分自身もその当時から留学を考えていたので、いつか申し込もうと考えており、高校3年生で初めて申し込んだという形です。

— 奨学生時代はハンガリーに留学されていたと思いますが、どういった点が具体的に学びになったのでしょうか。

日本にいとレッスンは月に3回程度で基本的には自分で練習することがほとんどですが、ハンガリーでは週に2回以上レッスンがあり、初めはそのペースに慣れることに必死でした。でも、そのおかげで非常に充実した留学期間になったと思っています。

ブダペストには市内にホールがいくつかあり、そこで毎日、有名な音楽家のコンサートがあったので、レッスン以外でも学びを深めることができました。

— 奨学金は主にどんな用途で活用されていましたか。奨学金をいただけて一番助かったのは移動費の面です。海外留学をしながらも日本国内での音楽活動をためらいなく続けられたのは奨学金をいただいていたおかげだと感じています。それから、現地で良い演奏を良い席で聴くことにも奨学金を活用させていただいていました。コンサートを立ち見で鑑賞する生活から、1階の真ん中の席で鑑賞できるようになったこ

とは、本当に大きな変化でした。国外の講習会に行くこと、コンクールを受けることなど、自分がやりたいことを全て実現させてくれたのが、RMF奨学金だったなと思います。

— 認定式・報告会、懇親会、スカラシップ コンサートに参加された際のエピソードを教えてください。

奨学生同士で交流する中で、世界各地の大学の状況、例えば「この大学にはどんな先生がいるのか」「今のレベルはどんな感じであるか」など知ることができたのは非常に良かったです。スカラシップ コンサートで他の奨学生の演奏を聴けたことも、刺激になりました。また、奨学生期間が終わった後でも、報告会で出来たご縁で演奏会に出演させていただいたりしたので、自分の今後の音楽人生にとって、良い機会だったなと感じています。

— これからRMF奨学金に挑戦したいと思っている方へメッセージをお願いします。

実は、私は初めてRMF奨学生に応募した際、第二段審査で落ちているんです。次の年に再度チャレンジし採択となりましたが、受かるまでの1年間を振り返ると、本当に頑張ったと思うんです。もちろん結果は大事ですが、それに至るまでの過程も大切だと思います。

上手くいかないこと8割、上手くいくこと2割でも、その2割を目指して日々努力し続ける姿勢を、自分自身も持ち続けたいですし、これからRMF奨学生を目指す方にもぜひ持っていただければと思っています。



©T.Tairadate

水野 優也 (2017、2018年度奨学生)

第89回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第13回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第31回青山音楽賞新人賞など多数の賞を受賞。ソリストとして東京響、東京フィル、日本フィル、読売響、大阪響、京響などと共演。ピアニスト反田恭平率いるジャパン・ナショナル・オーケストラ コアメンバー。特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。ハンガリー・リスト音楽院にてミクローシュ・ペレーニ氏に師事。現在、ザルツブルク・モーツァルテウム大学にてクレメンス・ハーゲン氏に師事。

### ロームミュージックファンデーション奨学金概要 (2024年度奨学生募集時点)

- 応募資格: 国内外の教育機関で音楽を学ぶ方、あるいは入学を予定している方 (年齢不問)
- 給付金額: 月額30万円 (返済不要)
- 給付期間: 原則1年間 (更新は一度まで可)



Rohm Music  
Foundation   
ロームミュージックファンデーション



ローム ミュージック フレンズ No.16

—ロームミュージックファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2023年12月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

〒615-0046 京都市右京区西院西満崎町44

TEL(075)311-7710 FAX(075)311-0089

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/>

協 賛： **ローム株式会社**

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。